

事業シート（概要説明書）						
仕分対象事業名（個別事業名）		防犯アドバイザー事業				
中事業名		安全・安心まちづくり推進事業	担当部・課名	防災安全部安全安心推進課		
総合計画上の位置付け（分野名）		地域安全	担当名	安全安心推進担当		
事業開始年度	平成17年度	根拠法令	鎌倉市安全・安心まちづくり推進嘱託員設置要綱			
実施方法	直接実施					
	業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者： ）					
	補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）					
	貸付（貸付先： ） その他（ ）					
事業概要	目的 （何のために）	犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進するため				
	対象 （誰・何を対象に）	市民（保育園児・小学校児童・中学校生徒・保護者・高齢者等） 自治・町内会 施設等職員（保育園・子どもの家・小中学校・老人センター等） 等				
	事業内容 （手段、手法など）	市民の皆さんの身近な相談窓口として、また、自主的な防犯活動を支援するため、2名の防犯アドバイザー（警察官OB）が、各地域や施設などに何い次の様な防犯活動を行っている。 1 保育園、子どもの家、小中学校等の子ども関連施設、また通学路及び市内全域の防犯パトロール 2 自治・町内会、自主防犯活動団体の防犯パトロールに参加 3 園児や学童、保護者、自治・町内会、老人会、教職員他施設職員等に対する防犯教室の開催や助言指導 4 警察関係者等との連絡窓口 5 市内の防犯上の課題箇所の把握 6 その他防犯対策や防犯活動に関する指導や助言等				
	事業の必要性	市民が平穏な日常生活を過ごすことが出来るための安全・安心なまちづくり施策を行うためには必須の事業であり、専門的知識・経験を持つ者からの日々の指導・助言・見守り等は欠かすことができないものである。				
コスト	平成22年度		人件費内訳		従事職員数	
	事業費	0 千円	}	職員構成		平均人件費 ×従事職員数
	人件費	5,212 千円		担当正職員		183 千円
総計	5,212 千円	臨時職員他		5,029 千円	2 人	
事業費 （財源内訳・単位千円）	年度	総額	補助対象事業の全体経費に対する市の負担（支出）割合		平成22年度予算の財源内訳	
	H19(決算)	0	-		国補助金 0	
	H20(決算)	0	-		県補助金 0	
	H21(決算見込)	0	-		起債 0	
	H22(予算)	0	-		一般財源 0	
平成22年度 事業費内訳	H22（予算） 5,029千円（人件費） 報酬：4,666千円（2名分）・旅費(費用弁償)：363千円（2名分） 参考（人件費） H19（決算） 5,113千円 H20（決算） 5,126千円 H21（決算見込）4,979千円					

<b>活動実績</b>	<b>【活動指標名】 / 年度実績・評価</b>	<b>単位</b>	<b>H19年度</b>	<b>H20年度</b>	<b>H21年度</b>
	巡回パトロール・見守り、 立ち寄り警戒等の実施	件	972	1,106	1,825
	防犯訓練・防犯教室等の開催	件	203	138	84
	防犯関係の普及・啓発活動、 相談業務等	件	503	680	528
<b>単位当りコスト</b> (事業費/活動指標)	事業費 / 活動実績	千円	-	-	-
<b>成果目標</b> (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の防犯意識の高揚等による刑法犯認知件数の減少を目指す。 平成19年 計1,252件(鎌倉警察署管内; 615件、大船警察署管内; 637件) 平成20年 計1,277件(鎌倉警察署管内; 625件、大船警察署管内; 652件) 平成21年 計1,150件(鎌倉警察署管内; 560件、大船警察署管内; 590件) 年度ではなく暦年での期間集計(警察資料から)</li> <li>年度に換算 平成19年度 計1,287件(鎌倉警察署管内; 644件、大船警察署管内; 643件) 平成20年度 計1,221件(鎌倉警察署管内; 588件、大船警察署管内; 633件) 平成21年度 計1,131件(鎌倉警察署管内; 561件、大船警察署管内; 570件)</li> </ul>				
<b>成果実績</b> (成果指標の目標達成状況等)	<b>【成果指標名】 / 年度実績・評価</b>	<b>単位</b>	<b>H19年度</b>	<b>H20年度</b>	<b>H21年度</b>
	市内刑法犯認知件数	件	1,287	1,221	1,131
	防犯アドバイザー活動実績 (巡回・警戒・訓練・防犯教室等)	件	1,678	1,924	2,437
<b>事業の自己評価</b> (今後の事業の方向性、課題等)	<p>警察官職務経験者として防犯の専門的経験や知識を基とした指導・助言・パトロール等の活動は、学校や自治・町内会等においてその評価は高く、存在を頼りにされている。また、犯罪の被害者となりやすい子どもや高齢者を守るための施策展開の核となる存在でもあり、今後の安全安心まちづくりの形成のためにも必要不可欠である。安全安心のまちづくりは、市民等の自らの自主的な活動による防犯を拠り所とするところから、市と市民、関係機関との協働の場におけるアドバイザー事業の役割は今後も重要であると考え。</p>				
<b>比較参考値</b> (他自治体での類似事業の例など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市とほぼ同様事業実施 警察官経験者を雇用し事業を実施 綾瀬市、海老名市、厚木市、相模原市、大和市、寒川町、逗子市、横須賀市、荒川区</li> </ul>				
<b>特記事項</b> (事業の沿革等)	<p>他市と比べ、現状でも高い高齢化率の上昇が今後も予想される中、それに比例し自主防犯活動への参加者の高齢化による課題等も、自主防犯団体からのアンケート等から垣間見られる。従って、効果的な防犯対策実施のためなど、本アドバイザーの今後の活動が益々期待されている。</p>				